

## 食支援事業（フードパントリー）

### 取組の背景・目的

#### 【取り組みの背景（事業実施の経緯）】

墨田児童会館では、もともと児童館事業の一環として、トマトを育ててカレーを作る等、子どもたちの食育を推進してきた。食育関連イベントや会議に参加する中で、「すみだ食育 good ネット」や「社会福祉法人ベタニヤホーム」等、食育や食品ロスに取り組むさまざまな地域の団体・法人とのつながりが生まれ、徐々にネットワークが広がり、数年前から地元企業や団体が食糧品等を不定期に提供してくれるようになった。はじめのうちは、1階ロビーに置いて、来館者に自由に持ち帰ってもらう形式を取っていたが、以前より協力企業・団体が増え提供される食糧品の量や頻度が増えてきたことや、「社会福祉法人ベタニヤホーム」が中心になり、さらに区内での食育・食品ロス対策の活動が活発になってきたことなどを踏まえ、児童館として何ができるかを改めて考えた結果、本当に生活に困窮している要支援の家庭に届けるため、児童館内で「食支援事業（フードパントリー）」を実施することとした。

#### 【目的】

- ① 地域包括支援の一環として衣食住の支援を行う
- ② 児童館としての役割を踏まえつつ、地域を巻き込み全職員一丸となって取り組む
- ③ 食支援を通して地域の要支援家庭の発見、関係機関との連携を図る

### 取組の概要

① フードパントリーを開催し、食料品等を無料配付。要支援家庭の発見や長期休暇中の昼食支援につなげる

#### ・実施場所

児童館 1階ロビー 人数が今後増えるようであれば2階のスペースに移動させることも検討

#### ・実施頻度

毎月2週目の金・土 10:00~12:00

※一般的な給料日前の利用者が取りに来やすい日程

#### ・職員体制

1名常勤が常駐。加えて受付職員がサポートに入っていく。

② 社会福祉法人ベタニヤホーム、すみだ清掃事務所、ごっつあんすみだ（立川ストックヤード）との連携と、社会福祉法人ベタニヤホーム主催の「食支援ネットワーク会議（ごっつあんすみだ）」への参加

## 工夫点・留意点

- 初めての実施であったことから、館内掲示による広報のみにとどめ、これまでの児童館事業の実施の経験から、来館する家庭数（30 家庭程度）と想定し、準備を行った。
- 1 日目と 2 日目に配布するものが偏らないように振り分ける。
- 参加者のリサーチをするため、参加する前に名前と該当する欄（乳幼児保護者・小学生保護者・中高生保護者・小学生・中高生・プレパパ、プレママ）に〇を付けていただく。

## 取組の効果

- 2024年1月に初めて開催し、参加したかったが仕事で行けなかったとイベントの翌日に要支援家庭の方から話があった（要支援家庭へアプローチが自然にできた）。館で検討して取り置きをしていくことも検討していく。



## 課題・今後の展開

- どの家庭層（乳幼児親子、小学生、中高生、保護者プレパパ、プレママ等）にニーズがあり、必要としているのか探っていく
  - 無くなり次第終了としているが、今後開始と同時に混み合う可能性も考えられる。
- 現在館内掲示だけの告知で開催しているが、口コミ等で広がったと時に今後の参加人数次第で受付方法や開催場所を模索していく必要がある。
- 子ども服リサイクル（地域の中で服が循環するイベント）と同時開催できるよう検討している。